

近畿地方整備局 入札監視委員会（第二部会） 令和3年度第2回審議概要

開催日及び場所	令和4年1月25日（火） Web開催（本局：神戸地方合同庁舎 6階 局議室）	
委員	大辻 俊介（大辻公認会計士事務所、DCT税理士法人 公認会計士・税理士） 瀧 圭吾（神戸大学教授 第二部会長 今回抽出担当者） 森川 英典（神戸大学教授） （五十音順）	
審議対象期間	令和3年4月1日 ～ 令和3年9月30日	
報告事項	①発注状況報告 ②指名停止措置の運用状況報告 ③談合疑義事実の選定に関する基準に該当した案件の発生状況報告 ④再度入札における一位不動状況報告 ⑤低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況報告 ⑥一者応札の発生状況報告 ⑦不調・不落の発生状況報告 ⑧高落札率の発生状況報告	（備考） ・①～⑧について、整備局資料に基づき説明を行った。
審議事項	総件数	（備考）
①抽出案件	7件	[抽出件名]
＜工事＞		
一般競争入札方式（政府調達協定適用対象）	1件	・大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸(2)余水吐等工事(第3工区)
一般競争入札方式（WTO対象外）	1件	・姫路港須加地区航路(-12m)浚渫工事
一般競争入札方式（WTO対象外）	1件	・大阪港南港東地区流出防止柵改良工事
＜業務＞		
簡易公募型プロポーザル方式	1件	・和歌山下津港海岸(海南地区)内海南水門護岸基本設計等
簡易公募型競争入札方式	1件	・和歌山港湾事務所管内の港湾施設防災機能強化検討業務
簡易公募型競争入札方式	1件	・舞鶴港和田地区等土質調査
＜物品役務＞		
一般競争入札方式	1件	・庁舎移転業務

	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	なし	

意見・質問	回答
<p>【審議事項】</p> <p>1. 一般競争入札方式（政府調達協定適用対象） 「大阪港北港南地区航路(-16m)附帯施設護岸(2)余水吐等工事(第3工区)」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術提案評価が4者とも同点だが、提案内容が類似しているのか。 ・提案内容はそれぞれ異なるが、どの企業を選んでも品質に問題はないということか 	<ul style="list-style-type: none"> ・各社によって提案は異なる。しかし今回の工事は一般的な工事であると同時に、全参加業者が企業能力の高い大手であるため、差があまりでなかったと考えられる。 ・相対的な評価はしていないが、差はない。

意見・質問	回答
<p>2. 一般競争入札方式（WTO対象外） 「姫路港須加地区航路(-12m)浚渫工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航路浚渫工事は一般的に国だけが取り扱うのか、県や市と分担で業務をおこなったりするのかなか。 ・前審議案件工事と比べて、評価の差が大きいが浚渫工事は差が出やすい特徴があるのか。 ・施工能力評価型対象工事だが、差が出るような評価項目なのか。 ・施工能力評価型（施工計画重視型）とはどういった点で重視しているのか。 ・技術提案評価型のように標準仕様に加えて、さらに追加の内容は求めないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国だけでは無い。国は基本的に水深-12m以上の航路工事を行っている。 ・一概には言えない。前審議案件工事の参加業者は全国規模の業者がそろっているが、本工事は地方規模の業者が参加しているので能力にバラつきがあり、そのため、差が出やすい傾向にはある。 ・施工計画が適正かどうかを判断している。差を出すために評価項目を作っていない。 ・仕様書の内容を把握し、施工上の工夫を記載していると判断できれば可とし、点を与えている。 ・求めない。

意見・質問	回答
<p>3. 一般競争入札方式（WTO対象外） 「大阪港南港東地区流出防止柵改良工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札だが、原因は何が考えられるか。 ・プレキャストのパネルはコンクリート製な 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料のダウンロード業者にヒアリングを行ったところ、技術者の調達に難しいとの回答であった。 ・木のパネルを樹脂製のパネルに交換した。

<p>のか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海水への耐久性を考慮し、材料を考えているのか。 ・木製のパネルは残っているのか。 ・木製と樹脂製で耐久年数はどの程度違うのか ・樹脂製の価格は高いが、トータルコストは安いのか ・2回入札とは何か 	<ul style="list-style-type: none"> ・その通りである。 ・一部残っている。 ・正確なデータは無いが、私見では2倍程度の差があると思われる。 ・その通りである。 ・1回目の入札で落札者がいなかったため、2回目の入札を行ったもの。
---	---

意見・質問	回答
<p>4. 簡易公募型プロポーザル方式 「和歌山下津港海岸(海南地区)内海南水門護岸基本設計等」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3者の評価点に大きく差がでているがなぜか ・海岸保全施設の性能照査とは何か ・水門が閉まるのは手動なのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・「予定技術者の経験及び能力」の項目で点数が低い者は配置予定技術者が資格を1つ有していなかったため、他2者と差が出た。最も評価点が高い者は重要事項の指摘、有益な代替案があったため、「実施方針・実施フロー・工程計画・その他」の項目の点数が高く、「評価テーマに対する技術提案」(テーマ1)に対して高度な技術を有し、具体的な提案があった。 ・水門の解析である。 ・自動である。津波のJ-アラートと連動している。

意見・質問	回答
<p>5. 簡易公募型競争入札方式 「和歌山港湾事務所管内の港湾施設防災機能強化検討業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術評価点の実施方針が3者同点だが、提案内容が似ていたのか ・1者の点数が低いなぜか 	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容は3者とも異なっていたが、3段階評価に基づき判断したら結果として同点となった。 ・検討内容に具体性が欠けている部分が多く見られ

<p>・落札者の提案内容で評価した点はどんなところか。</p>	<p>たため。</p> <p>・施工上、改良しにくい部分がありそれに対して細かい部分まで具体的な検討がされていたため。</p>
---------------------------------	---

意見・質問	回答
<p>6. 簡易公募型競争入札方式 「舞鶴港和田地区等土質調査」</p> <p>・入札価格が高くても、技術評価点が高いため落札するいわゆる逆転現象のケースはどのくらいあるのか。</p> <p>・技術評価点の高さと入札価格の低さには相関関係があるように見えるが、そういったものはあるのか</p> <p>・落札者と非落札者の差はどこででたのか</p>	<p>・舞鶴港湾事務所の実績で言えばあまりない。</p> <p>・一概には言えない。</p> <p>・技術者の実績である。</p>

意見・質問	回答
<p>7. 一般競争入札方式 「庁舎移転業務」</p> <p>・各社、価格の差が大きいように思われる。</p> <p>・発注時期の季節は影響したのか。その時期を狙っての発注か。</p>	<p>・事前の見積りの段階から、価格にばらつきがあった。</p> <p>・建物の完成に合わせて発注した時期が閑散期であった。</p>

意見・質問	回答
<p>【報告事項】</p> <p>なし</p>	<p>なし</p>

意見・質問	回答
<p>8. 全体を通して</p> <p>なし</p>	<p>なし</p>